

令和元年度 学校評価表

東広島市立磯松中学校

学校教育目標	確かな学力を身に付け、心豊かで活力にみちた生徒の育成	経営理念	安心と活気のある学校づくりを推進し、地域に愛され信頼される学校を築く ○学力の向上を図る学校 ○規律と活気のある学校 ○組織的運営をする学校
--------	----------------------------	------	---------------------------------------------------------------------------------

評価計画				前期指標	後期指標	自己評価		分析と今後の取組	
中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価指標			10月	3月		
学力の向上を図る学校	基礎・基本の確実な定着を図り、自ら学ぶ生徒を育成する。	(1)生徒が「分かる・できた」と実感できる授業づくりを推進する。	○「磯松授業スタイル」の実践、ねらいと学習課題が明確な授業。 ○学習規律(ベル着・私語)の徹底を図る。 ○「聴く」「書く」「話す」活動を取り入れた授業を展開する。 ○小中連携による教師力、生徒の学力の向上を図る。	①学習に係るアンケート項目の肯定的評価を90%以上にする。 ②磯松授業スタイルの実践に向け、教職員の校内授業研究又は校外での研修参加率を100%にする。 ③「自分の考えをまとめ発表できる」生徒の割合を80%以上にする。 ④「他者(生徒間、教職員等)の話を聴く」「自分の考え書く」「自分の考えを振り返ったり、まとめたり発表する」ことができる生徒の割合を1年生70%、2年生75%、3年生80%以上にする。	①84.4% ②100%	①86.5% ②100%	2	2	①1年87.4%、2年81.2%、3年91.1% 3年生達成。1、2年生は達成していないが、前期(1年82.7%、2年79.1%、3年86.8%)に比べ伸びている。2年生は発表や質問の項目が特に低いことから授業改善を引き続き図るとともに、授業規律を確立する。 ②模擬授業や研究授業を実施し、主体的な学びを実践をしている。また、校外で研修した内容を校内研修会で共有している。
		(2)家庭学習の習慣化を図り、自ら学ぶ意欲・態度を育てる。	○適度の宿題及び自学自習ノートの課題の提出・点検を実施する。 ○読書活動(朝読書も含む)を推進する。	⑤「期限内に提出物を出す」生徒の割合を88%以上にする。 ⑥月1冊以上の読書をする。	③75.3% ④90.2%	③76.6% ④91.7%	3	3	③1年78.6%、2年65.2%、3年86.2% 3年生達成。前期から伸びてはいるが、2年生の達成率がまだ低い。授業やテストにおいて場を設定する。 ④1年91.3%、2年89.6%、3年94.5% 各学年とも高い達成率である。聞くとはどういうことか意識をさせ、引き続き、「人のことを大切に聞く」姿勢を身に付けさせる。
		(2)健康の増進とたくましい体を育てる。	○健康教育・食教育の推進を図る。 ○新体力テストの結果を踏まえて、弱点克服のための補強運動を実施する。	⑦生徒の「JASMIN」についての取組を肯定的に評価する教職員の割合を80%以上にする。 ⑧JASMIN(8項目)の達成率の平均を87%以上にする。(時間90%、挨拶90%、返事、言葉遣い90%、掃除、整理整頓80%、身だしなみ80%、履物80%、提出物88%) ⑨主体的・創造的な活動(部活動、体育大会、文化祭など)の取組による達成感を80%以上にする。 ⑩「給食を残さない」生徒の割合を90%以上にする。 ⑪男女共に「長座体前屈」について県平均値を上回るようにする。	⑤83.1% ⑥88.2%	⑤86.6% ⑥80.8%	3	2	⑤1年80.2%、2年87.0%、3年91.7% 3年生達成。2、3年生は前期に比べ数値は高くなっている。教科、学級、学年で指導を徹底する。 ⑥1年87.3%、2年80.0%、3年74.1% 3年生の数値が低くなっている。入試が近くなり、日ごろの読書時間が減ったためと考えられる。朝読書の時間を大切に、いろいろな場面で読書の有用性について、生徒に伝えられるようにしていく。
規律と活気のある学校	豊かな心と健やかな体を育て、活力ある生徒を育み、不登校の未然防止に努める。	(1)豊かな人間性と社会性を育てる。	○JASMIN(東広島スタンダード)を徹底させる。 ○部活動、体育大会、文化祭等の取組を充実させる。	⑦95.8% ⑧92.2% ⑨93.0%	⑦100% ⑧92.8% ⑨91.5%	3	3	⑦95.8%→100% 目標の数値を上回った。毎月生徒指導重点目標を設定し意識して指導した。次は生徒に評価を返していくことを意識したい。 ⑧92.2%→92.8% 目標の数値を上回り全体的に高い達成率である。黙動掃除の徹底と提出物が次の課題である。 ⑨93.0%→91.5% 後期は3年生が部活動を引退しているため、数値が低くなっている。」全体的に高い達成率である。	
		(2)不登校の未然防止、解決に向けた取組を充実させる。	○生徒指導部会(不登校対策委員会)を定例開催し、取組の方向性を出す。 ○スクールカウンセラーや心のサポーターを活用する。	⑩0.5% ⑪100%	⑩0.8% ⑪100%	2	2	⑩0.4%→93.7% 目標値を上回っている。 ⑪33.3%(年間) 全体的に数値の向上が見られない。「長座体前屈」の数値が日常生活にどのように生かされるか生徒へ指導するとともに、体育の授業、各部活動で意識的にストレッチを行う必要がある。	
		(3)「悩みを相談できる先生がいる」生徒の割合を75%以上にする。 ⑮SCIによる新入生面談を100%実施する。 ⑯「学級生活不満足群」の生徒の割合を10%以下にする。 ⑰Q-U等を活用した教育相談の実施率を100%にする。	⑫不登校生徒の割合を全国平均以下にする。 ⑬生徒指導実践指定校の取組による不登校生徒への家庭訪問実施率を100%実施する。	⑫0.5% ⑬100%	⑫0.8% ⑬100%	3	3	⑫0.5%→0.8% 1年生1人、2年生2人、3年生0人で0.8%である。平成30年度の全国平均3.6%を下回った。 ⑬100% 引き続き家庭訪問を実施するとともに生徒実態に応じた対応を行う。	
組織的運営をする学校	機動的な学校運営体制を確立し、保護者・地域に信頼される学校をつくる。	(1)生徒指導体制を確立する。	○「報告・連絡・相談」を徹底させ、組織的・積極的な生徒指導を行う。 ○教育相談体制を確立し、生徒理解を深める。	⑭79.8% ⑮100% ⑯14.3% ⑰100%	⑭82.8% ⑮100% ⑯13.3% ⑰100%	3	3	⑭79.8%→82.8% 目標の数値を上回っている。引き続き相談しやすい信頼関係づくりに努める。 ⑮100%(年間) 新入生面談を100%行ったことが、その後の学校生活で悩みを抱えた時にSCとの面談へ繋げやすくなっていることから来年度も引き続き実施したい。 ⑯14.3%→13.3% 目標の数値は下回っているが、全国平均値28%は大きく上回っている。個別の面談など対応を引き続き行うことにより学級満足度を向上させたい。 ⑰100%(年間) 夏季休業前の懇談でQ-U実施者には個人票を配布し全員と個別の面談を行った。	
		(2)小中連携教育を推進し、子供の資質・能力を高める。	○育成する資質・能力の系統表を作成し、三校で子供の資質・能力を高める。 ○学校や地域に貢献する。 ○授業参観や学校だより、ホームページを充実させる。 ○資質・能力を育成するカリキュラムマネジメントを推進す	⑱校内緑化活動、美化活動、地域でのボランティア活動に積極的に取り組んだ生徒の割合を80%以上にする。 ⑲「磯松中学校で学ばせて良かったと思う」保護者の割合を90%以上にする。 ⑳行きたい学校(生徒)、行かせたい学校(保護者)、やりがいのある学校(教職員)の割合85%以上にする。	⑱68.8% ⑲96.4% ⑳92.1%	⑱68.1% ⑲95.2% ⑳94.5%	3	3	⑱1年57.3%、2年62.6%、3年86.2% 部活動の活動時間が減ってきているため、部活ボランティアの時間がとりにくくなってきている。 ⑲1年88.6%、2年100%、3年98.1% 高い達成率である。1年生は前回(96.3%)より後退している。 ⑳生徒88.3%、保護者95.2%、教職員100% 概ね達成できている。取組を継続し、満足度を上げる。
		(3)社会に開かれた魅力ある学校づくり(教育課程)を推進する。	○学校の部活動方針に基づいた部活動の実施。	㉑時間外勤務時間が毎月75時間を超えない教職員の割合100%。	㉑66.7%	㉑78.9%	2	2	㉑前回よりは改善できている。
働き方改革の推進	教職員の時間外勤務時間を縮減させるとともに、子供と向き合う時間が確保されていると実感できる教職員を増やす。	(1)部活動時間を縮減する。	○早期・定時退校日を設定する中で、計画的に業務に取り組む。	㉒41.7% ㉓54.2%	㉒55.6% ㉓63.2%	2	2	㉒改善は見られるが引き続き週ごとに業務の見直しを持たせ、毎日の退校時刻を設定する等の取組をしていく。 ㉓改善が見られる。「子どもと向き合う時間」を確保するために、行事や業務内容の見直しを実施した。	
		(2)業務に計画的に取り組む早期退校に努める。							

【目標達成率】 X = 達成値/目標値 × 100  
4(目標達成): X ≥ 100 3(ほぼ達成): 80 ≤ X < 100  
2(もう少し): 60 ≤ X < 80 1(できていない): X < 60

【評価】  
4...目標を上回って達成 3...目標どおり達成  
2...目標を下回った 1...目標を大きく下回った